

報道機関 各位



国際消防救助隊(IRT)合同訓練を実施します！

「関東大震災」から100年の節目に下関市消防局と連携強化

今年、1923年（大正12年）に発生した関東大震災から、100年の節目に当たります。世界有数の地震大国である日本において、いつどのような災害が起こってもおかしくありません。世界的にみても、今年2月にはトルコ南東部を震源とした「トルコ・シリア地震」が発生し、甚大な被害をもたらしました。

このような状況を踏まえ、本市消防局では、大規模災害に備えるため、関門海峡を隔てた下関市消防局と連携を強化し、国際消防救助隊（IRT）合同訓練を実施します。

訓練の特徴

- ▶ 両市消防局の国際消防救助隊員が連携
- ▶ 地震災害時に必要となる都市型搜索救助技術を習得
- ▶ 9月1日の「防災の日」の契機となった関東大震災のような大規模災害を想定して、災害に備える



国際消防救助隊とは？

国際消防救助隊（IRT）は、昭和60年のメキシコやコロンビア等での大規模災害をきっかけに昭和61年4月に発足しました。海外において地震等の大規模災害が発生した場合、被災国政府の要請に応じて出動し、救助活動を行うことを任務として、昭和62年に外務省に国際緊急援助隊（JDR）が創設され、その中の救助部門として組織されています。現在、総務省消防庁の組織として、全国77消防本部599人（本市消防局11人）の救助隊員が登録しています。

「トルコ・シリア地震」には、本市消防局からの派遣はありませんでしたが、IRTから17人が派遣され、現地で活動しました。

■日時・場所

令和5年9月1日（金）8時30分～17時15分

北九州市消防訓練研修センター（小倉北区東港一丁目2番5号）

*取材は、9月1日（金）9時30分～16時30分までとさせていただきます。

ただし、その他の時間帯での取材をご希望の場合は担当までご連絡ください。

■訓練概要

4つの訓練サイトを作成し、それぞれ異なる内容を実施します。
(別紙をご覧ください。)

■参加機関

北九州市消防局、下関市消防局（計35人程度）

■主催

北九州市消防局

■安全対策等

安全な位置から撮影していただくよう、撮影場所は適宜ご案内します。

■問い合わせ先

消防局警防課救助係 担当 田中・桂 電話番号：093-582-3817

※訓練場所の安全確保のため、取材を希望される場合は、8月31日（木）17時までにご連絡ください。

訓練概要 (予定)

1 訓練タイムスケジュール

日時	概要
8時30分～9時30分	訓練開始報告、訓練説明
9時30分～12時30分	ブリーチング、ロープレスキュー
13時30分～16時30分	狭所空間救助、ショアリング
16時30分～17時15分	撤収、訓練終了報告

2 実施内容

9時30分～12時30分

①ブリーチング



・コンクリートの構造物を破壊し、その先の要救助者を救出する。

②ロープレスキュー



・建物の高所に取り残された要救助者を、ロープを使用し救出する。

13時30分～16時30分

③狭所空間救助



・倒壊建物の狭い空間で、がれきに挟まっている要救助者を救出する。

④ショアリング



・要救助者を安全に救出するため、木材を使用し倒壊建物の安定化を図る。